

学校評価 7 月【教員】

項 目	質 問	肯定率	否定率
生活習慣	児童の発達段階に応じて、睡眠時間の大切さを指導している。	100%	0%
	児童の発達段階に応じて、バランスのとれた食事の大切さを啓発している。	100%	0%
	児童の発達段階に応じて、情報モラルについて指導している。	100%	0%
体力づくり	外遊びや運動に親しむ機会を設けたり、進めたりしている。	86%	14%
	挑戦することの大切さを、児童に伝えている。	100%	0%
	児童が目標を立てたり、その達成を振り返ったりする機会を設けている。	100%	0%
生徒指導	児童は、学校に行くのが楽しいと感じている。	100%	0%
	気になる児童には、教員から声を掛けている。	100%	0%
	児童からの相談には、時間を取って対応している。	100%	0%
規範意識	機会を捉えて挨拶や返事の指導をしている。	100%	0%
	児童に「ありがとう」や「ごめんなさい」を相手に伝えることの意義を伝え、指導している。	100%	0%
	学校や学級の決まりを守る意義を伝え、指導を行っている。	100%	0%
仲間意識	定期的に教育相談を行ったり、いじめに関する指導を行ったりしている。	100%	0%
	定期的に学級の問題について話し合う機会を設けている。	100%	0%
	学校や学級で、協働活動を積極的に取り入れている。	100%	0%
自己有用感	係や当番活動などを通じて、児童の自己有用感を育む機会を設けている。	100%	0%
	児童の所属意識を高めたり、公共心を養ったりする機会を設けている。	100%	0%
	授業や校内の活動で、児童が他の児童から認められる機会を設けている。	100%	0%
学力向上	単元の中で、学習内容の定着を図る時間を設けている。	100%	0%
	授業で、自力解決やペア・グループでの話合いの機会を設けている。	100%	0%
	授業や家庭学習で、ICTを積極的に活用している。	100%	0%
個に応じた指導	児童の理解に応じた宿題を出している。	100%	0%
	児童が読書に親しむ機会を設けている。	100%	0%
	児童の理解に応じて、学習内容を指導している。	100%	0%
表現力育成	授業で、自分の考えを書かせたり、発表させたりする時間を確保している。	100%	0%
	児童に対して「話す・聞く」指導を徹底している。	100%	0%
	学校の俳句づくりの取組の効果を感じる。	100%	0%
「九町小学校のきまり」について御意見、御要望	規範意識が低い。きまりは守れなければいけないという意識が育っていない。		
業務改善の視点で、学校への御意見、御要望	統合準備も大事だが、九町小最後の年なので閉校という意識も大事にしたい。児童にも、九町小に愛着を持って閉校の年にしてほしい。そのためには、2 学期、3 学期の行事は伊方小との交流を増やすのではなく、九町小や九町の地域で思い出に残ることをしてほしい。秋に予定しているバス遠足も、地域でウォークラリーをするなど内容を再検討してはどうか。		